

釧路公立大学地域経済研究センターセミナー 「地方分権を考える」

釧路公立大学地域経済研究センターは本年6月に発足し、地域の課題についての共同研究を組織することを本務として準備を進めてまいりました。そして、このたび「地方分権のあり方を考える」をテーマに第1号の共同研究がスタートしました。地域のみなさまにも研究成果を還元できるよう考えておりますが、まず第1回研究会に合わせ、研究会座長である新藤宗幸氏の講演会を開催する運びとなりました。みなさま、お問い合わせのうえご参加ください。



講師 **新藤宗幸**氏（立教大学教授）

1946年神奈川県生まれ。1972年、中央大学大学院法学研究科修士課程を修了、財団法人東京市政調査会研究員、専修大学法学部助教授を経て、1989年より現職、放送大学客員教授。専門は行政学・地方自治論。この間、83～84年に米国アーバン・インスティテュートで、93～94年には、英国シェフィールド大学でそれぞれの国の政府間関係を研究。主な著書に『アメリカ財政のパラダイム・政府間関係』（新曜社、86年）、『行政改革と現代政治』（岩波書店、86年）、『財政破綻と税制改革』（岩波書店、89年）、『行政指導』（岩波新書、92年）、『福祉行政と官僚制』（岩波書店、96年）『現代政治のオルタナティブ』（筑摩書房、91年）、『日本の予算を読む』（ちくま新書、95年）、『市民のための自治体学入門』（ちくま学芸文庫、96年）、『地方分権』（岩波書店、98年）などがある。テレビ、新聞などのマスメディアでの評論や市民運動の現場でも、活躍している。

日時：平成11年12月7日（火）

14：00～15：30

場所：釧路公立大学 第一会議室

参加希望者は

釧路公立大学地域経済研究センターまで

TEL & FAX：(0154) 37-5187

または e-mail：skoiso@kushiro-pu.ac.jp